

★（様式A）通常事業評価シート【R4年度実施事業（一部）／財務部納税課による自己評価】

（単位：千円）

No.	事業名	総合計画での位置付け （個別目標）	事業の目的 （誰をどのようにするか）	事業の手段 （今年度の主な活動結果）	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 （決算見込額）	人件費 （参考値）	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	市税等徴収事業	持続可能で信頼される行政になっている	自主財源の確保を図るため、納税者の公平性を維持しつつ市税を徴収し、収納管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 督促、催告の実施 財産調査の実施、滞納処分の執行 口座振替、コンビニ、共通納税等による収納データ等の収受 	5：達成した	継続	45,545	105,827	151,372	徴収事務におけるコンプライアンスの遵守、及び多様な徴収手法の開拓の向上に努める。	課内一丸となって滞納整理を行い、滞納者を納期内納税者へと導き、また、徴収職員としての資質と技術の向上に努める。	
2	市税等過誤納還付事業（他課への一部予算再配当事務）	持続可能で信頼される行政になっている	納税者の公平性を確保するため、過誤納金を適切に処理する。	<ul style="list-style-type: none"> 過誤納に関する通知、支払い、充当、データ管理 配当割・譲渡割除不足額に関する支払い、充当、データ管理 	5：達成した	継続	109,831	17,753	127,584	引き続き、適正な事務の遂行に努める。	引き続き、適正な事務の遂行に努める。	
3	市税等広域徴収事業	持続可能で信頼される行政になっている	滞納整理業務の高度化を図るため、大阪府域地方税徴収機構において市税等の広域徴収を行う。	大阪府域地方税徴収機構における市税等の徴収	5：達成した	継続	351	8,596	8,947	対象債権の拡大及び今後の徴収機構の組織体制の強化策の検討	現行をベースに、機構引継事案のいっそうの精査、ならびに市派遣職員の技術の向上を図る。	
4	債権管理事業	持続可能で信頼される行政になっている	効率的な市債権の回収を行うため、一元的な債権管理を実施する。	一元化組織に移管された債権の管理	5：達成した	継続	351	21,489	21,840	移管債権以外の各種徴収金所管課への支援拡充	研修内容の見直しや相談体制の充実等実地面での支援を拡充していく。	
5	納税課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	課の庶務	5：達成した	継続	70	13,170	13,240	引き続き、適正な事務の遂行に努める。	引き続き、適正な事務の遂行に努める。	